

土曜学習「わがまち 多治見大好き講座」 1年間のまとめ

令和5年度 地域と学校の連携・協働体制事業における重点的に取り組む課題についてまとめました。

①学校運営上の課題 →教職員の時間外勤務の是正課題

・H27岐阜県下で土曜授業が各学校で実施の方向になったが、学校の仕事を増やさない

取組

- ・学校単位ではなく、多治見市教育委員会が一括して土曜学習を取りまとめ実施する
- ・地域の退職教員や地域の施設・団体等多様な地域人材の参画を得て実施
- ・作業の効率化を図るため、作業の ICT 化を推進し、ロイロノートによる児童生徒への直接配信を実施

指標

・多治見市小中学校で1か月の超過勤務を行う教員の平均時間数

成果

R4 平均 31 時間 50 分 → R5 平均 29 時間 20 分

・土曜学習の実施講座は 1 回増えて 11 回実施したが、それにもかかわらず、増加はしていないので、学校への仕事量は増加していないものと推察する。

②学校と地域の課題

課題

- ・H12をピークに人口減少・少子高齢化となっているので、持続可能な社会の構築が急務
- ・地域の活動に参加する児童生徒が全国平均より少ない

取組

・地域の歴史や産業、多治見ならではの文化にふれる、体験する場を設け、多治見を好きになり、もっとよくなりたいという願いをもつ児童生徒を育成

指標

①全国学力・学習状況調査の生徒質問紙

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の当てはまる・どちらかと言えば当てはまるの合計

②土曜学習実施後のアンケートで「多治見がもっとよくなる」といいと思うか」と聴収

成果

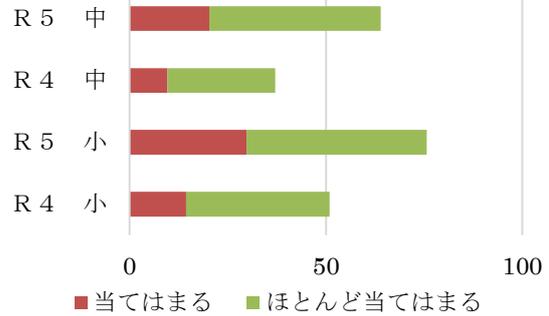
①全国学力・学習状況調査より

R4 44.0% → R5 69.9%

②土曜学習に参加した児童生徒のアンケートより

99.2%が「多治見がもっとよくなる」と回答 残り 0.8パーセントのうち、「今のままで十分よい」という回答もあったことを考慮すると、土曜学習講座に参加した児童生徒のほとんどが多治見についての期待と願いをもつことができた。

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



課題

・自己肯定感が低く、困難なことに挑戦している児童生徒の割合が、全国平均より低い

取組

- ・体験講座での学校区・学年・兄弟の枠にとらわれず、活動グループを組み、活動する。
- ・グループでの交流の機会を増やし、勇気を出して講座に参加して楽しかった、よかったと実感させる

指標

・「講座に参加する前に知らない人ばかりで不安はありましたか」「参加してその不安は消えましたか。」と、土曜学習実施後にアンケートで聴収

成果

- ・アンケート結果より「参加してよかった」99.8% 「かかわってくれた大人や中学生が優しくて楽しい。」 「以前参加した時より一人ぼっち感が無くてよかった。」という意見をいただいた。

③学校と家庭の課題

課題

- ・社会的・経済的背景にもかかわらず誰もが学ぶことができる環境の実現
- ・コロナ禍での体力の低下によるけがの増加が目立つようになってきたので、学校以外での体を動かす場の設定

取組

- ・多治見市の小中学生ならだれでも無料で受講できる
- ・スポーツを楽しむ講座の開設

指標

・講座「チャレンジスポーツ in 多治見」年2回開設

成果

- ・講座「チャレンジスポーツ in 多治見(前期)」 8月 講師 GIFU SEIRYU HEROES (バスケット)
 - ・講座「チャレンジスポーツ in 多治見(後期)」 11月 講師 田中亮明氏(ボクシング)
- 以上、2 講座開催

ふれあう会・体験講座を計画し、90名の応募があった。アスリートの生き方にふれ、スポーツを楽しむ機会となった。